

富士五湖は有名ですが、富士八湖とか富士十湖とか呼ばれる湖沼の存在をご存知でしょうか。かくゆう私も、二十数年前にたまたま四尾連湖(しびれこ)を訪れた際、解説看板で知ったに過ぎません。今回DRのコースを物色している際に、ふとこのことを思い出しコースに仕立てることにしました。富士五湖以外の湖沼は諸説あるようですが、明見湖(あすみこ)、赤沼、四尾連湖、田貫湖、浮島沼、をセレクトし(有名な五湖は無視して)ぐるっと回るルートを作成した。すると富士山の周囲を4分の3周することになるのですが、机上では160kmを超えてしまいます。これに山道だったり寄り道をくっつけるうちに200kmに達すると思われ、さすがにこれを1日で回るのは無茶というもの。なので2つのコースに分割することにしました。



赤沼は今は消滅し車でのアクセスも困難なので断念し、他の4湖を、前半コースに明見湖・四尾連湖、後半コースに田貫湖・浮島沼、と配置しました。ぐるぐるドライブクイズ始まって以来の2連作です。さて前半コースですが、明見湖は河口湖に近く、四尾連湖は本栖湖よりさらに西方にあります。まっすぐ向かうと富士五湖の観光コースになってしまうのでこれを避け、河口湖から北上し甲府南を通る大回りのレイアウトにしてみました。

### S-1 CP

スタートはリニア見学センターのすぐ近くにある「道の駅つる」。一時は休止していたリニア実験線だが最近では運転しているようで、何度も一瞬の轟音が聴こえてくる。この轟音のドップラー効果だけでその速さを実感できる。道の駅つるの前で直売している桃がおいしかった。色・形が基準に満たない桃4個で500円！ 9月にはぶどうが中心になるとのこと。スタート後、しばらく高速道路沿いを進む。ときどき狭くなる箇所があるので注意。ODは都留グリーンゴルフのすぐ先に置いた。ドライブクラス参加の方はそのまま通過してください。



途中の三つ峠駅にCPを置きレトロな店構えと看板を楽しんでもらいたかったのだが、なんと今年1月に焼失してしまい跡形もなかった。Google ストリートビューで焼失前の状態を是非ご覧いただきたい。

結局1CPは「山神社」に置いた。ここの藤棚が有名なのだが、10年前に見に来たときには大規模な道路工事中で近づけなかった。今回はもちろん道路整備は終わっており、どうやら移設・再建されたのは鳥居と石灯籠だけで済んだことに安堵し、無事CPとクイズ設置ができた。さてCPラインとした水路は、なぜか下から上に流れているように見えるが、錯覚だろうか？

### 1-2 CP

1CPの先に、五重の塔の背景に富士山が納まる構図が有名な「新倉富士浅間神社」があるのでCPにしたかったのだが、有名になりすぎて観光客が殺到し駐車場に辿りつくのは容易ではない。とにかく外国人客が多く、世界遺産とガイドブック表紙の効果は絶大だと知る。ということでさっさと明見湖を目指すルートに切り替え。





2CPを置いた明見湖は10年前のSAQR09で訪れた場所。湖一周を歩測するクイズが優勝を左右した思い出の場所だ。8月には湖面いっぱい蓮の花が咲き誇る。この大きな壁画が楽しく生まれ変わっていたので迷わずクイズにしたが、皆さんは解答に迷うかもしれない。

## 2-4 CP

2CPから3CPは直行に近いコース取りで、河口湖の観光施設は今回無視した中で唯一、きみまろ茶やを採用。クイズネタがあったことと、駐車場だけの利用を認めてもらったことが大きな理由。定休日の木曜を除き、営業時間外も駐車可。なお木曜日はチェーンが張られるが、距離計測もクイズ解答も可能。

### お店紹介

#### 「cafe雅楽」(4CP)

現在は(古民家ではなく)古い民家で営業。ご主人は芦川村をこよなく愛し、金土日をご主人が芦川村で農業とカフェを営む、相模原市在住の元IT系営業マン。おいしいcafeと楽しい話で時が経つのを忘れてしまう。



だいたい10時-17時(日曜は15時まで)  
金土日のみ営業 P有

### お店紹介

#### 「きみまろ茶や」(3CP)

綾小路きみまろプロデュース。本人が時々来るといふ情報もある。抹茶わらびセットがおすすめ。夏はおいしい冷茶がポットで付く。500円。



9時半頃-17時 木曜定休 0555-76-8129 P有

ここで河口湖を離れ甲府南方面を目指す。その途中に以前TDRでCPが置かれたおごっそう家があるが、その手前に古民家カフェがあるのでそちらをCPに採用。この農啓庵(どうけいあん)は一時休業していたが、場所を隣に移しcafe雅楽として再開されたもの。実はこの辺りの芦川地区は古民家の宝庫で、笛吹市の管理で常時公開している藤原邸も近いといふのでそこにクイズを設置。4CP前のcafe雅楽の駐車場に車を止め、少し歩いてもらうが懐かしい雰囲気味わえる。

#### 4-5 CP

この区間は甲府盆地に向かって下っていく。スピードの出過ぎに注意。途中にある江戸屋商店はごま豆腐が人気。次のCPに予定していた八代ふるさと公園が間近なので、当初はCP設置を見送ったが、立ち寄ってお話をするうちにDR参加者にサービスしてくれるということになったので、CPを追加することになった。

#### お店紹介 「江戸屋商店」 (5CP)

創業187年だが看板商品のごまどうふ製造直売を始めたのは平成20年、割烹料理で提供したものが評判で商品化。白ごま、黒ごま、抹茶は通年製造。いちご、枝豆、など季節限定品も並ぶ。抹茶・いちご等は甘味で食感はムースに近い。品薄の時も。事前に電話すれば、希望の品を確保してくれる。1つ170円。白ごまと黒ごまは徳用サイズあり。我が家では白ごまが人気だった。保冷材は付けてくれるがICE BOXの用意を。



10-17時 水曜定休 055-265-3600 P有  
店の元気なお母さんから、DR参加者に何かサービスがあるらしい

なお直線下り坂なのでスピードに注意しないと、ごまどうふ看板を見つけてブレーキを踏んでも間に合わない恐れがあるので注意(50km程度なら十分停止できる)。

#### 6-8 CP



6CP・到着点は八代ふるさと公園の一角にあるリニアが見える丘公園に。試走時には一度もリニアを見ることがなかったが運の良い方は見られるかも。隣の広い公園からは甲府盆地と背景の山々の見晴らしが素晴らしい。ここにもクイズを置いたので、そこから近い駐車場を6CP・出発点としてある。



7CPを置いたゆめソーラーやまなし。前回のぐるドラQでは深田記念公園前のソーラーパネル群を批判したが、ここは少なくとも危険性はない。作成者自身は太陽光発電に賛成でも反対でもなく、適切にエネルギー政策が実施されていけば文句はない、そう適切であれば。出題の方は、1問は主観クイズと言われそうなので減点を抑えたものの、本人は客観的事実に基づいてクイズにしたつもりでいる。

山道に入る前に、食事処やトイレも必要だろうと道の駅とよみに寄り8CPとした。最初は国道からの出入口にCPを置こうとしたが、しばらく観察しているとひっきりなしに車が入ってくるので変更、逆に一番奥から入場してもらおう形にした。ただ夏休みには混雑も予想され、入場が制限されたり誘導されてCPにうまく入れない可能性もある。その際は救済処置を設けたので申告願いたい(詳細は参加ルール(21)今回特別ルールの項を参照)。この名物はシルクソフトで、実際にシルクパウダーが練りこまれている。以前はスーパーシルクソフトもあったが、原材料が調達できなくなっらしい。シルクソフトも今のうちかも。



## 8-9 CP

いよいよ四尾連湖に向かう山道に入っていく。最初の構想では四尾連湖にクイズを設置し、静かな佇まいを味わってもらおうと思っていたのだが、20数年の歳月はこの山奥の様相を変えてしまった。駐車場は有料(400円)となり、湖畔はキャンプ場やコテージで賑わっている。



前は寂れたポート乗り場と、野鳥観察小屋しかなく訪れる人は殆どいなかったのだが、まったく当てがはずれてしまった。400円払う価値は無いのでクイズを置かずすぐに折り返すことに。手前の湖畔を無視して対岸にレンズを向ければ静かな湖に見える写真は撮れるので、興味ある方はどうぞ。

## 9-F CP

そんな状況なので四尾連湖をゴールとするのはやめ、後半コース(ぐるドラQ-7)のスタートを近くに置ける場所として六郷の里つむぎの湯まで引っ張ることにした。途中、山間部の施設も何もない場所に10CP。この格子状の擁壁は、この場所にしかないが見落とさないように。

六郷の里つむぎの湯は、比較的新しい施設ながら料金が安い！ 町外利用者は400円。約96kmに及ぶ(ミスコースした方はもっと)ロングドライブの疲れを癒してください。現在キャンペーン中で、時間制限なし。無色透明、低温槽があったり、歩行浴(水着着用)ができるのが特徴。六郷町ということで印鑑作成の受付があるのがユニーク。マスコットキャラクターの出番がないことを嘆く自虐的なHPも面白い。「苦肉の策」「大きな痛手」「先の見えないトンネル」「機会を逸し」「呪われた」「不可解な」「悪役キャラ」などネガティブワードのオンパレード(笑)。



10-20時(入場19時半)  
水曜定休  
0556-20-2651 P有



帰路は、中部横断自動車道の六郷ICに近いが、まだ全通しておらず北にしか向かえない。中央道や圏央道を利用する方はこれで良いと思う(増穂IC-甲府南IC間を140号でショートカットしてもよい)。本栖みちをひたすら走って本栖湖経由で河口湖ICまで東進する手もあるが、週末の夕方は物凄い渋滞を覚悟する必要がある。静岡、神奈川方面の方は身延線沿いに南下し東名(新清水IC)を利用。なるべく下道でショートカットし東名に辿りつきたい方は、本栖みち経由で本栖湖から南下、富士南麓を469号で横断し御殿場ICを目指すルートもある。

なお1日でぐるドラQ-6,7を回ろうとするのは相当無茶なのでお勧めしません。皆様、気をつけてお帰りくださいませ。

